

細部に込められた技

# 職人の技術が細部にまで生きる ナルシマの木の家



表紙の答えは「手摺」です

職人の技が細部にまで込められて、快適な空間をつくるナルシマの家。その裏にある職人や現場スタッフの日々の研鑽について、成島大敬副社長に編集部の矢野がお話を伺いました。

## 普段使っている素材を「製品」に変える職人の技

**矢野** 昨年末から手摺(てすり)の標準化に取り組んでいると伺いました。

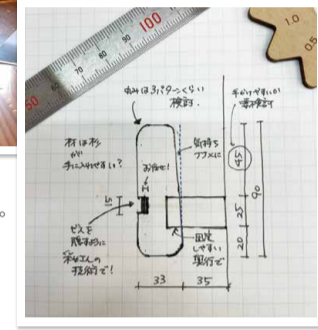
**大敬** 『わざわ座デザインコンテスト2021』で手摺を出展したことがきっかけです。意外に奥が深く、出展後もさらに検討を続けてもっとクオリティを上げていくことにしました。

**矢野** どのような手摺を提案したのですか？

**大敬** わざわ座の主旨は既存の素材を工夫して家具や道具をつくることです。間柱を利用しました。そのままだと厚すぎるため、上部を斜めに削り、丸みを加えて握りやすくしています。正確かつ均等に削るのは繊細な作業です。採女棟梁に試作品をつくってもらい、角度や手触りを確かめながら、二人とも納得するものができるまで9本も削ってしまいました(笑)。



「わざわ座デザインコンテスト2021」をきっかけに手摺づくりに取り組む。右は検討中の副社長のスケッチ。



他の棟梁たちも工夫された仕上げに興味津々。

## 手に触れる、五感で感じる快適さと美しさを追求

**矢野** 手に触れたり目にしたりする部分は、住み心地にも大きく影響しますね。

**大敬** 手摺は家の中で直接手に触れる数少ないパーツの一つです。階段の上り下りが安全にできることはもちろん、手触りが良く、見た目も美しいものにしようと心がけて設計しました。

**矢野** 表側に細い溝が彫られています。デザイン的な意図ですか？

**大敬** 本来は親指をかけてより握りやすくするためのものです。また、壁に固定する支柱に取り付けるビスも仕込んでいます。そのままだとビスの頭が見えてしまうため、色調の違う埋め木をはめ込んで隠しました。こうしてひと手間かけることで見た目の印象がシャープになり、機能とデザインを両立できたと思っています。「神は細部に宿る」と言いますが、美しい仕上がりは職人の技術の賜物だと改めて実感しました。

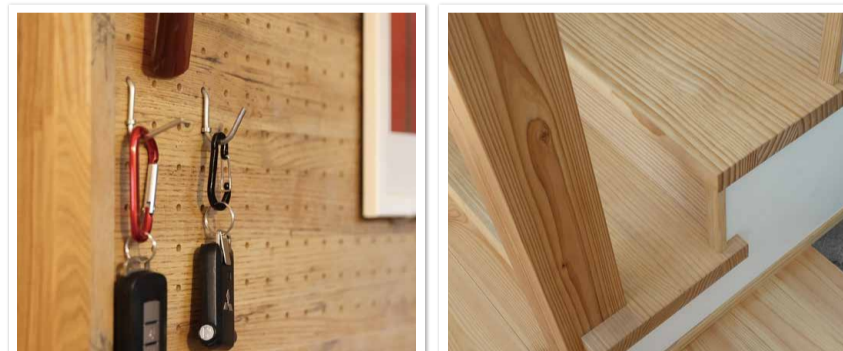


社内標準化を目指してさまざまな意見があげられる。設計や現場の経験を積んだスタッフの意見がありがたい。

## ナルシマにしかできない、木を生かす家づくりを目指して

**矢野** こうしたノウハウは、今後の家づくりにどう活かされていきますか？

**大敬** 現在も他の棟梁や現場監督の前原、リフォームの渡辺と山本、市村、設計の久保も交えて検討を続けています。それぞれが経験や知識をもとに意見を出してくれて、まだまだ改良できそうですね。そういう経験値やアイデアを結集して、新築の際の手摺はすべてオリジナルの手づくりで標準化したいと考えています。最近では将来の介護を想定したリフォームも増えているので、そちらにも活用できるようにしたいです。ナルシマの家は特別なことをしなくても、職人の技と工夫で住まいの隅々まで快適で心地よい空間になる。そういう私たちにしかできない、木と職人の技を結集した家づくりを目指していきたいですね。



手摺と階段の踏み板、材料の選び方と納め方、細部にこだわるデザインと技。良質なデザインの標準化と優れた職人の技で新たなナルシマクオリティを実現。

## 『わざわ座 デザインコンテスト2021』に参加

家具や道具などテーマを決めて職人のアイデアと技を持ち寄るのが『わざわ座 デザインコンテスト』。2021年は「手摺」をテーマに募集され、全国の工務店から27点の作品が集まりました。作品は「ジャパンホームショー2021」内『わざわ座手ざわり展』で一般公開。ナルシマの作品も展示され、多くの来場者が実際に手で触れて、感触を確かめていました。



「ジャパンホームショー2021」内の『わざわ座手ざわり展』(2021年11月17日～19日東京ビッグサイト)。

ki no hako

ざいもく屋の木を楽しまかたんDIY

# 木のほこ

木の香りに癒されながら「つくる」を楽しみましょう

いつもDIY木のはこにご参加いただき、ありがとうございます。木のはこでの時間が皆様にとってちょっとした楽しみの時間になりますよう、安心してご参加いただけることを第一に考え開催したいと考えております。

簡単にできますよ～

## ウッドキャニスター

大・小 2コ set

2/17(木)・26(土)

10:00～12:00 / 13:30～15:30

予約制

参加費 1,500円 (税込)

釘を使わず木工用ボンドで組み立て、アンティークカラーのペイントとお好きなステンシルを選んで仕上げます。オリジナルのウッドキャニスターをつくりませんか？

wood canister

SIZE 大:縦横11cm×11cm、高さ13cm  
小:縦横9cm×9cm、高さ11cm

毎月やっています～

## ひのき&すぎのアロマポンポン作り

2/19(土)

13:00～15:00

予約不要

松や杉のかんなくずでつくる「アロマポンポン」1個100円で何個でも製作可能。直径8cm～12cmくらいです。  
※ホームページで開催のご確認をしてからお越しください

お持ち帰り用の袋をご持参ください。

DIYワークショップ 木のはこ

ざいもく屋(有)成島商店

会場 取手市駒場 2-14-12

0120-885-119

ざいもく屋(有)成島商店のホームページもご覧ください！

皆さまが作られた作品を、Instagramでハッシュタグ「#木のはこ成島商店」を付けて投稿すると自動的に「ざいもく屋(有)成島商店のホームページ」で紹介されます。どんどん投稿してくださいね。

### お申し込み方法

木のはこLINEを登録済みの方は今まで通りご予約できます！

初めてご予約の方はこちらのQRから木のはこLINEへつながりますのでお友達追加をしてお申し込みください。

ざいもく屋(有)成島商店 HP  
木のはこ予約申し込み方法

LINE申し込みができない方は左記にお電話ください。

## 職人紹介 Shokunin File

ナルシマは信頼できる六人の棟梁でしか家をつくりません。高性能住宅をつくり続け、造作家具等ひと手間かける匠の技が持ち味のナルシマの家。お客様から絶大な信頼を受け、お客様の人気になるのもナルシマ棟梁たちの特長です。

### 棟梁 六人衆

Shokunin File.06  
Touyou 6 nin-shu

**棟梁 笠見 和也**

真面目で真摯な人そのもの。ザ・職人氣質で黙々と確実に仕事をする一方、時折見せる笑顔は少年のような爽やかさで何処か人をホッとさせます。

**棟梁 佐藤 敏明**

みんなから「おやっさん」と呼ばれ信頼も厚い佐藤棟梁。仕事には厳しく人にはやさしい、まさに大工のなかの大工。鍛えた技術は誰にも負けません。

**棟梁 後藤 秀孝**

どんな時も笑顔で、一緒にいると和んでしまう癒し系大工さん。細かなところも手を抜かない仕事ぶりを見ているだけで、良い家になると確信できます。

**棟梁 采女 直資**

頭に巻いた手ぬぐいがトレードマーク。強面に見えて実は温厚で繊細な人柄なんです。妥協しない芸術家肌の仕事ぶりでお施主様を虜にします。

**棟梁 佐藤 卓也**

親子二代でナルシマの棟梁に。モットーは見えない所も丁寧な仕上げること。爽やかな笑顔で子どもたちにも人気の大工さんです。

**棟梁 飯田 靖之**

細かなビスまで収納箱で整理整頓。仕事をする姿勢や仕事場にこだわりが溢れています。お気に入りのお菓子専用箱もあるというお茶目な一面も。

棟梁六人衆を紹介する最新の動画をホームページで公開中です。ぜひご覧ください！

## 失客万言

つお客さまのふれあひ

第86回 御狐ちひろ

この4コマも7年目となりました！本年も宜しくお願ひ申し上げます！